

整理番号		部番号	
------	--	-----	--

※整理番号は担当部局で記入する。

## 東京工業高等専門学校 Web サイトリニューアル作業請負業務

### 企 画 提 案 書

平成      年      月      日

住所

商号又は名称

代表者職・氏名

社印及び代表者印

担当者職・氏名

電話番号

Fax 番号

e-mail アドレス

## 会社概要

＊本社，支店の設置場所，会社全体の業務内容，組織体制，会社総従業員数，正社員数について記載し，別添としてパンフレット等の書類を提出すること。

## 経営状況

＊直近 3 年（平成 25 年度～平成 27 年度）の各会計年度における流動資産、固定資産、その他資産、流動負債、固定負債、資本及び売上高、経常利益、当期純利益の推移を記載し、別添として決算関係書類を提出すること。

【ページ数 (様式毎)】

【ページ数 (通し番号)】

## 業務の実施方法

\*業務の実施に当たっての人員配置計画を記載する。人員については、実績・能力・経験を記載すること。

【ページ数 (様式毎)】

【ページ数 (通し番号)】

## 同種・類似業務の実績

①直近 3 年（平成 25 年度～平成 27 年度）に担当した同種又は類似業務の内容について記載すること。（複数回答可）

記入例）

（1）大学・会社名：〇〇大学

作業時期：平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月

URL：http://\*\*\*\*-uc.ac.jp/top.html

作業内容：HP のシステム設計及び構築，導入後支援 3 年

CMS 対応の有無：有

導入効果：入学者増加，セキュリティ増強，国際化対応，スマートフォン対応

②直近 3 年（平成 25 年度～平成 27 年度）に同種又は類似業務における受賞歴があればその主な内容について記載すること。（複数回答可）

記入例）

（1）賞の名称：2015 年度国際 Web デザイン（IT 部門）ブロンズ賞

授与団体：社団法人日本コンピュータ推進協議会

受賞時期：平成 25 年 12 月

## 提案内容（別紙様式3－5）作成にかかる留意事項

### ①提案内容を下記の要領で記載すること。

仕様書の示す要求要件の項目に応じて、項目に対比した形式で、提案内容を記載すること。

対応が可能であることを、どの提出書類のどの部分で確認ができるかについて、備考欄に参照サイトの URL を記載したり、また参照資料番号を記すとともに該当箇所に付せん紙等ではっきりと明示すること。

参照すべき具体的な箇所がフロー図・デザイン案などのうちの一部を指す場合は、アンダーラインを付したり、色付けしたり、余白に大きく矢印を付したりすることによって該当部分をわかりやすくしておくこと。

参照すべき箇所の明示が客観的に見て不明瞭な場合は、重大な瑕疵があるものとし、要求要件を満たさないと判断することがあるので十分に注意すること。

### 記 入 例

※必須項目 (1) 仕様書に記載している事項		① 充足状況	② 実現方法	③ 備 考
1－1 デザイン・サイト構成				
①	日本語サイトおよび英語サイトの両方を構築すること	○	構築可能です。 英語サイトは URL 末尾に[_e]を付し、切り分けます。	日：http://～.html 英：http://～_e.html
④	SEO に配慮して設計すること	△	「URL の正規化」「モバイル対応サイト」「リンク対策」等、複数の対策は組合せ可能ですが、実装にあたって具体的な調査・協議を要します。	画面イメージ①参照
⑪	閲覧者の利用環境によらず（中略）構成を採用すること	×	他の仕様条件(⑫)を鑑みた場合、印刷の完全実現は困難です。	一部、アイコンが欠落しての印刷となります。 印刷見本①参照

※ あくまで簡略化した記入例であり、実際の提案書は本校提示の様式に沿って適正に作成すること。

審査にあたり、提案の根拠が不明瞭な場合や、単に「実現します」、「可能です」といった回答のように、実現方法があいまい、不明瞭で書類審査に重大な支障があると判断された場合は、要求要件を満たしていないものと判断する。

提出された内容等について、問い合わせやヒアリングを行なうことがある。

### ②次の項目について企画・デザイン・レイアウトの案を任意様式で添付すること。

I－i. トップページ

I－ii. サブページ

II. 「女子中学生志願者向け」特設コンテンツ

III. 「入学志願者向け」特設コンテンツ

IV. スマートフォンページ

提案内容				
※必須項目		①充足状況	②実現方法	③備 考
(1) 仕様書に記載している事項		○:標準で実現可能 △:条件付きで実現可能 ×:実現しない	充足状況が △:条件付きで実現可能であった場合、その条件や実現方法を記載すること	対応状況等を確認できるもの (URL, 参照資料番号等) を記載すること
1-1 デザイン・サイト構成				
①	日本語サイトおよび英語サイトの両方を構築すること。			
②	リニューアルの範囲は「概要説明」の「5. リニューアルの範囲」に示した通りである。			
③	英語サイトは、日本語サイトのレイアウトに準拠したものにする。			
④	英語サイトは、外国人が閲覧しやすいように特化した形式にする。			
⑤	SEO に配慮して設計すること。			
⑥	JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠すること。本仕様書における「準拠」とは、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「ウェブコンテンツの JIS X 8341:2016 対応度表記ガイドライン 2016 年 3 月版」で定められた表記による。			
⑦	JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠する範囲は、概要説明の「5. リニューアルの範囲」すべてであるが、PDF ファイルおよび外部機関が作成した動画ファイルは除外する。また、他社の地図サービスなどを利用する場合は、該当箇所を除外する。			
⑧	利用者(特に中学生とその家族)が知りたい情報に素早くアクセスできること。			
⑨	レスポンス Web デザインやリキッドレイアウトを用いて、タブレット型 PC やスマートフォンにも対応するデザイン及び構成を採用すること。			
⑩	ページのレイアウトは、フレーム・table			

	レイアウトを使用せず、データとデザインを分離し、HTML5, CSS3, JavaScript1.8.5 以上により構成すること。			
⑪	閲覧者の利用環境に依存することなく、Internet Explorer 9・10・11 及び公募時において最新バージョンの Firefox, Safari, Opera, Google Chrome 等、多種のブラウザでレイアウトが崩れることなく閲覧できること。			
⑫	閲覧者の利用環境によらず、レイアウトが崩れることなく印刷できること。ただし、動画など動きのあるものは対象外とする。また、改ページに配慮したデザインおよび構成を採用すること。			
⑬	重要なメニューにはアイコンやアイキャッチ画像等を用いて、利用者の目に留まりやすくすること。			
⑭	トップページには動画やアニメーションを表示できるようにすること。			
⑮	入学志願者向け特設コンテンツを提案の中に含めること。また、その中に女子中学生向けコンテンツも含めること。			
⑯	定期的な情報発信、ビジュアル(画像・ビデオ)の更新を含め、新鮮さを維持するための仕組みを含めること。			
⑰	ページのデザインはアクセシビリティに配慮しながらも Web サイトの更新権限者によるデザイン変更が可能であること。			
1-2 システム構成				
①	FQDN(www.tokyo-ct.ac.jp) はそのまま引き継ぐこと。ネームサーバーの設定は本校が実施するが、作成期間中に仮の FQDN を必要とする場合は、本校と協議の上、決定すること。			
②	Web サーバーおよび CMS サーバーにより本 Web サイトを構築すること。			
③	Web サーバーおよび CMS サーバーは、本校が用意するクラウドサービス(Microsoft Azure)上に構築すること。			



④	Web サーバーとの通信は、TLS1.2 により暗号化が可能なこと。本設定に必要な証明書は本校が用意し設定する。			
⑤	クラウドサーバーに OS をインストールする作業は本校が行うが、インストールすべき OS は提案書に明記すること。ただし、Microsoft Azure 上で動作しない OS や、サポート体制・期間に問題のある OS は使用しないこと。			
⑥	Web サーバーおよび CMS の導入に係るソフトウェアのインストール及び設定は、すべて受託者が行うこと。			
⑦	Web サーバーおよび CMS サーバーは、同一のゲスト VM 上で稼働させても良いし、別々のゲスト VM 上で稼働させても良い。いずれの場合も、想定される必要なスペックは提案書に明記すること。			
⑧	CMS パッケージソフトは、既に大学法人等で安定運用されており稼働実績のあるもののうち、管理・運営がより簡単に行えて、外部攻撃に対してより頑健なシステムを選定すること。ただし、Movable Type6 または Wordpress3.9.1 以上の機能を有するものに限る。			
⑨	Web サーバー、CMS ソフトウェアが必要とするミドルウェアに関しては、入札の時点でサポートが継続しており、かつ、その後 5 年以内にサポート終了の予定がないものを選定すること。尚、検収後 5 年以内にメーカーの都合によりサポートが打ち切られることがあった場合は、速やかな情報提供に加え、その残余期間の運用に関して積極的な協力者の立場でサイトの運営維持に本校と協力して取り組むこと。			
⑩	CMS サーバー上のコンテンツ管理画面との通信は、TLS1.2 以上により必ず暗号化されていること。また、本設定に必要な証明書は、本校が用意し設定する。			
⑪	CMS サーバーは、パソコン上の Web ブラウザ(Internet Explorer11、公募時におい			

	て最新バージョンの Google Chrome 等)で簡単に作成・更新・管理業務が行えること。また、将来的な対応や今後の外部への作業委託を考慮し、作成・更新・管理業務が多彩なブラウザ利用環境 (Firefox, Safari, Google Chrome) に対応していること。			
⑫	納品時点で判明しているセキュリティパッチはすべて適用し、既知のセキュリティホールがない状態で納品すること。			
1-3 CMS 要求機能				
1-3-1 基本コンテンツの作成				
①	メニューなどは1回の修正で関係する全ページに即座に反映できること。			
②	グローバルナビゲーション、ローカルナビゲーション、パンくずリスト等は自動的に生成・表示され、コンテンツ公開終了とともに自動削除されること。			
③	更新権限者が、コンテンツ作成時に公開期間(開始日時・終了日時)の設定ができることで、希望した日時にコンテンツの自動更新ができること。			
④	エディタは、HTML のタグの操作も可能であるが、HTML 言語を意識せず、一般的なワープロソフトと同様の操作性により、コンテンツを編集できること。			
⑤	コンテンツの作成・承認時に、公開イメージをプレビューできること。			
⑥	PDF, Word, Excel 等のファイル(ダウンロードファイル)を添付できること。その際、ファイル形式、サイズが自動表示されること。			
⑦	Facebook, Google+, Twitter 等の SNS との連携設定及び連携の削除ができること。			
⑧	Google Map 等を利用した地図コンテンツを設置し、拡大・縮小・移動の操作が行えること。			
⑨	画像ファイルをアップロードする際に、			

	任意の画像サイズに縮小できること。			
⑩	項目の更新がサイトマップに自動的に反映されること。			
⑪	意見箱を用意し、本校についての質問を不特定多数の方が簡単に投稿できること。また、投稿された内容は担当者にメールで通知するものとし、担当の更新権限者が判断によって、必要のある投稿に対して簡単に回答し掲示できること。			
⑫	サイトマップを表示するボタンは全てのページに表示すること。			
⑬	サイト内の検索は全てのページに表示すること。			
⑭	ヘッダーやフッター等を含め、Web サイト全体のページレイアウト構成は、再利用して変更可能であること。			
⑮	コンテンツを更新したとき、トップページに、ニュース・イベント情報・緊急速報・更新情報などが自動で挿入できる機能を提供していること。			
⑯	スクロールに応じてフェードイン・フェードアウトする「ページトップへ戻る」ボタンを実装すること。			
1-3-2 権限・セキュリティ等				
①	CMS サーバー上のコンテンツ管理画面には、特定の IP アドレスからのみアクセスを許可するよう設定ができること。またそのような IP アドレスを複数設定できること。なお、CMS サーバーの機能でなくとも、同等の制限が可能であれば代替案も認める。			
②	複数の更新権限者がコンテンツの更新を行えるようにすること。			
③	更新権限者が情報を登録すると、登録したことが承認権限者にメールなどで通知され、承認権限者の承認後にホームページに掲載されるような仕組みを有すること。			
④	更新権限者毎に編集できる階層やコンテンツを制限できること。			

⑤	更新権限者は、他の更新権限者が管理する階層やコンテンツは修正できないようにすること。			
⑥	更新権限者が共通使用できる画像の場所を CMS 上に設けること。			
⑦	管理者には、更新権限者および承認権限者と同等の権限が与えられること。			
⑧	更新権限者の操作履歴について、日付・時間・操作したページを確認できること。			
⑨	外部からのサイト改ざん等の危険に対する安全対策を施すこと。			
⑩	事故に備えたデータのバックアップ対策を施すこと。			
1-3-3 Web マスター管理機能				
①	マスターページの管理・ユーザ情報の管理・組織情報の管理・カテゴリ情報の管理画面が付属すること。			
②	ライブラリの画像登録、画像削除の機能制限ができること。			
1-3-4 その他の機能				
①	学内のパソコンからのみ閲覧を可能とするページが作成できること。			
②	外部ページへのリンクは、新しいタブまたはウィンドウで開くようにすること。			
③	ページごとに任意の時点の公開状態へ戻すことができるように世代管理が可能なこと。ただし世代数は問わない。			
④	アクセスログ解析機能を有すること。他のアクセスログ解析ソフトウェアを組み合わせた提案も可とする。			
⑤	一定期間更新されていないページを一覧表示して確認できること。			
⑥	リンク切れチェック機能を有し、状況を一覧表示して確認できること。また、見え消しまたはアンカーの削除等で自動的にリンク切れに対応できること。			
⑦	CMS サーバー上のコンテンツ管理画面にログインし、新規作成・編集作業を行えるユーザーID 数の上限が少なくとも 200 以上であること。			

5 アフターサポート				
①	検収後、5 年間のアフターサポートを行うこと。			
②	導入した CMS がバージョンアップされた場合や、セキュリティホールや不具合を発見した場合には、Web ページの公開に影響のない範囲で速やかにシステムを更新すること。更新は、本校と協議の上、本校の指示に従って行うこと。			
③	障害発生時に原因の切り分け作業を行い、状況を報告すること。また、その対処方法に関する提案・協力を積極的に行うこと。			
④	本校からの技術的質問に対しては、サポートデスク等から迅速に回答すること。ただし、インシデント数などにより制限を設ける場合は、企画提案書に明記すること。			
※加点点目				
(2) デザイン・サイト構成				
①	先進的又はオリジナリティが感じられるデザイン・レイアウトが採用されている。 (レスポンス Web デザイン、フルードイメージ、リキッドレイアウト、グリッドレイアウトの部分導入、ホワイトスペースの最適配置、グローバルナビゲーション、ローカルナビゲーション、パンくずリスト、サーチエンジンオプティマイゼーション等の技術の採用・構给力)			
②	ファーストビューを含め、東京高専への認知度を高めるよう工夫されたデザイン・写真・キーワード等を用い、最上のユーザーエクスペリエンスが得られる構成となっている。			
③	トップページから目的の情報へ直観的にたどり着けるよう工夫された仕組み・デザインを採用されている。また、重要なメニューは利用者の目に留まりやすいよう工夫されている。			
④	スマートフォンサイトやタブレット PC で			

	閲覧する場合は、これらに特化した見やすさ、デザインに配慮している。また、ドロップダウンメニュー・スライドメニュー・グローバルメニューなどを配置して、操作性にも配慮したデザイン・レイアウトとなっている。			
⑤	トップページとサブページに統一感があり、また、一部のユーザーに偏ったものではなく、幅広いユーザーに配慮されたデザイン・レイアウトとなっている。			
⑥	日本国内のみならず、国外へも積極的にアピールする工夫がされたデザイン・レイアウトを採用している。			
⑦	大規模災害発生、急な学校行事予定等の変更、その他、緊急性の高い情報を発信する必要が生じた場合に、本校学生・教職員へ向けて迅速かつ的確に情報発信できる工夫がなされている。			
⑧	レスポンス Web デザインを採用している場合、読み込みに時間がかかるなど、PC サイトに採用したデザインによる弊害を考慮したデザイン・工夫が施されている。			
⑨	多種多様な動作環境にあるスマートフォンの今後のアップデートによる動作の安定性を考慮している。			
(3) コンテンツ				
	入学志願者及び女子中学生の志願者をターゲットとしたコンテンツ（内容、デザイン、手段等）が、それぞれ一箇所に集約されており、入学志願者の増加効果、および女子中学生の志願者の増加効果が得られるように、コンテンツを工夫している。			
	その他、本校 Web サイトの内容を充実させ、実施可能な優れたコンテンツの企画・デザイン・レイアウトが提案されている。			
	契約締結日から納入期限までの間に現 Web サイトに対して加えられた変更内容			

	が、新 Web サイトにより多く反映されるよう作業日程が提案されている。			
(4) サイトユーザビリティ・アクセシビリティ				
	利用者が本校 Web サイトをストレスなく操作できる総合的な工夫がなされている。			
	表示する情報の軽重に応じ、ビジュアルヒエラルキーに基づくデザイン・構成がされている。(見やすいフォント及び大きさの選択、行間の適切さ)			
	障がい者、高齢者等が閲覧してもストレスを感じないデザイン (JIS X8341-3 のガイドライン) が提案されている。			
	Web 全体を通して、アクセシビリティの行き過ぎ・偏りがなく、基本の Web デザインとトーン&マナーが図られた配色・デザイン・レイアウトとなっている。			
(5) CMS の機能性・操作性				
	編集できる範囲 (軽微なデザイン・レイアウト、動的コンテンツ、アンドゥの回数) 等、機能性に優れたものである。			
	特別な知識や技能を有することなく、本校担当教職員がページ編集、写真掲載及び管理権限付与等の操作を直観的に行えるように、操作性に優れたものになっている。			
	導入する CMS は安定的な稼働実績が豊富であり、外部攻撃に対しての頑健なものになっている。また、Web サイトの複数年運用 (10 年程度) に際して、導入する CMS の継続性・安定性が図られている。			
	新 Web サイトの運用費用に配慮して、CMS の年間ライセンス料が、より低価格に抑えられるように、導入する CMS を選定している。			
(6) 個別提案事項				
	仕様書の記載項目について、特に優れた提案がなされている。			
	仕様書・審査基準に記載のない事項について、優れた提案がなされている。			

(7) その他				
	受託者が実施するリニューアル範囲（作業負担）が多い。			
	各社から提出された見積額を相対的な評価。			

【ページ数 (様式毎)】

【ページ数 (通し番号)】



## スケジュール

提案内容を，実現する際のスケジュールを任意様式で記載すること。

記入例)

平成 28 年 9 月末 契約締結

〃 10 月初旬 東京工業高等専門学校にて第 1 回打合せ，ヒアリング，資料提供依頼  
 中旬 〃 第 2 回打合せ，技術担当者打合せ  
 下旬 〃 第 3 回打合せ

11 月 基本システム設計第 1 案作成

東京工業高等専門学校にて第 4 回打合せ，技術担当者打合せ

中略

平成 29 年 1 月中旬 東京工業高等専門学校 HP トップページ及び基本ページ枠組み完成  
 弊社会議室にて仮想環境下での動作確認及び打合せ

中略

平成 29 年 2 月末 東京工業高等専門学校 HP マスターアップ

2 月末～3 月初め 実証実験，不具合修正作業

3 月中旬 東京工業高等専門学校において管理担当者向け説明会実施  
 最終検証

3 月末 東京工業高等専門学校へ引き渡し  
 運用開始

4 月 支援開始

## 東京工業高等専門学校についての理解度

東京工業高等専門学校の知識・理解・イメージを任意様式で記載すること。

【ページ数 (様式毎)】

【ページ数 (通し番号)】

## 参考見積書（別紙様式 3－8）作成にかかる留意事項

事業にかかる費用について、下記の要領で記載すること。

○参考見積書の作成にあたっては「作業項目ごとの工数（人日）」で費用を記載すること。

工数に係る部分の数量を「一式計上」とするのは不可とする。

○人日単価は、1 月＝20 日間、1 日＝8 時間をそれぞれ基礎数として積算すること。

○積算の詳細が記載された資料を内訳書として添付すること（様式不問）。

※技術者の定義は以下のとおりとする。

①プロジェクトマネージャー（PM）：

Web サイトリニューアル作業の責任者として、作業計画を立案し、必要となる要員や資源を確保し、計画した予算・納期・品質の達成について責任をもって業務を管理する者

②システムエンジニア 1（SE 1）：

システムの機能設計およびシステム具体化の中心的役割を担う者

③システムエンジニア 2（SE 2）：

基本設計を基にした詳細設計の中心的役割を担う者

④プログラマー（PG）：

プログラミングの中心的役割を担う者

平成 年 月 日

## 参考見積書

東京工業高等専門学校 殿

住所.....

見積者 商号又は名称.....

代表者職・氏名..... 印

「東京部工業高等専門学校 Web サイトリニューアル作業請負業務」について、  
下記のとおり見積致します。

## 記

見積金額（消費税は含みません。）

金額

		百万			千			壹
--	--	----	--	--	---	--	--	---

円也

項 目	工数(人日)				単価 (円/日)	合 計
	PM	SE 1	SE 2	PG		
デザイン・サイト構成						
サイトユーザビリティ・アクセシビリティ・ファインダビリティ						
コンテンツ管理の効率化・高度化 (CMS)						
CMS 構築						
ソフトウェアのインストール及び設定						
サポート体制						

- ・提出の際に本参考見積書のほか、詳細が記載された内訳書（様式任意）を添付すること。
- ・金額の訂正は認めない。金額を誤記入した場合は本見積書を再作成すること。
- ・本参考見積書は「消費税抜きの金額」で作成すること。

【ページ数 (様式毎)】

【ページ数 (通し番号)】